

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 復興支援－25

学校名・団体名	福島市立野田小学校
HPアドレス	http://academic2.plala.or.jp/arinomi/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	音楽活動による学校活性化（プラスα）を 目指して
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>東日本大震災から4年が経過し、本校では被災した校舎の完成・外構工事の終了と震災前の環境に戻りつつある。この環境の中で、音楽活動を通して学校生活に潤いと希望をもたせる活動を展開する。</p> <p>校内では、児童に音楽へのあこがれをいだかせることにより、夢をもつ機会とする。</p> <p>校内のみならず、地域の方々にも音楽のすばらしさを実感していただくことで、開かれた学校の窓口の一つとする。</p>	

I 活動に実際

【マーチング部】

- 1 児童センターこども祭り（6月14日）
野田児童センターで開催されるこども音楽祭のオープニングで、約300名の参加者の前で演奏をした。児童の息の合った演奏に参加者は大きな感動をいただき、大絶賛であった。地域に方々に、演奏のすばらしさを披露することができた。
- 2 第33回福島県マーチングフェスティバル（9月27日）
夏季休業中の練習の成果を発揮し、「優秀賞」を受賞し、東北大会への推薦を受けることができた。観衆も演奏・演技のすばらしさに感動していた。児童も自分たちの演奏に自信をもっていたので、推薦を受けたことに次大会への意欲をもつことができた。
- 3 学習発表会（10月17日）
演奏の発表をする。部員が今までの練習の成果を参観していた保護者・地域の方々約600名の前で披露することができた。音楽のすばらしさを地域の方々にも実感していただくことができた。
- 4 第44回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会（11月22日）
東北地区から28校参加し、全国大会の推薦を目指してがんばった。本校は、23番目に演奏し、指導の先生の助言をもとに精一杯の演奏をすることができた。その結果、上位の成績で全国大会推薦をいただいた。
- 5 第43回マーチングバンド全国大会（12月19日）
小学生の部小編成19校の8番目に演奏をした。全国大会に向けて指導の先生からさらにすばらしさを発揮する指導を受け、児童は精一杯の演奏をした。6校がゴールドを獲得した。本校はその中でも上位の成績であった。2年連続金賞ということで、地域の方からも称賛のことばをたくさんいただいた。

【合唱部】

- 1 福島地区音楽祭（8月20日）
歌が好きな児童35名が心を一つにして課題曲・自由曲を発表した。日頃の成果を発揮することができ金賞を獲得し、10年ぶりに県大会への出場権を獲得した。学校中でがんばりを称賛した。児童もこの結果に驚いていた。
- 2 福島県下小中学校音楽祭1部（8月28日）
今までのがんばりをすべて発揮することができた。結果は銀賞であったが、今までのがんばりに満足することができた。
- 3 野田地区敬老会（9月19日）
大勢の敬老の方々の前で、県大会出場の歌声を披露することができた。敬老の方々から、歌声のすばらしさに称賛のことばがたくさん聞かれた。

II 成果

- 1 音楽のすばらしさを校内や地域の方々に伝えることで、心に潤いをもつことができた。本物の鑑賞からしか得られないよさである。
- 2 各大会を経験することで、今の自分に満足せず、さらに上を目指し、よりよくしたいという意欲をもち夢をもって大会に参加することができた。児童一人一人の成長に寄与することができた。
- 3 学校の取組を地域にアピールすることができ、地域との交流も図ることができた。音楽のもつすばらしさの一面である。
- 4 各種大会の参加により、低学年の児童も音楽のすばらしさを実感し、あこがれをいただくことができた。将来の夢をもつことができ、活動に意欲が見られるようになった。